

福島第一原子力発電所 多核種除去設備(B)系 の出口水放射能濃度上昇について

平成26年3月19日
東京電力株式会社



東京電力

多核種除去設備（B）系の出口水放射能濃度上昇について

<概要>

- 3月18日にクロスフローフィルタの酸洗浄作業のため停止した多核種除去設備（B）系について、（B）系出口で採取した処理後の水（3月17日採取）に、通常より高い放射能濃度が確認されたことから、（B）系の処理が不十分となっている可能性があるかと判断した。
- 汚染範囲拡大防止のため、同日（A）系および（C）系の処理を中断し、多核種除去設備の処理水移送先であるJ1エリアの処理水タンクおよびタンクへ移送する前の水を一時的に貯留するサンプルタンクへの移送を停止した。
- （B）系と同日に採取した（A）系および（C）系の出口水は、分析の結果、通常と同程度の値であり、除去性能に異常はないことが確認された。
- 一方、3月18日に採取したJ1エリアの処理水タンク（J1(D))およびサンプルタンクA～Cの水についてはB系出口水と同程度の放射能濃度が確認された。
- 今後、（B）系の出口水放射能濃度上昇の原因調査を行うとともに、J1エリアの処理水タンクの汚染範囲を確認し、サンプルタンクも含め必要な対策を講じていく予定。

調査結果

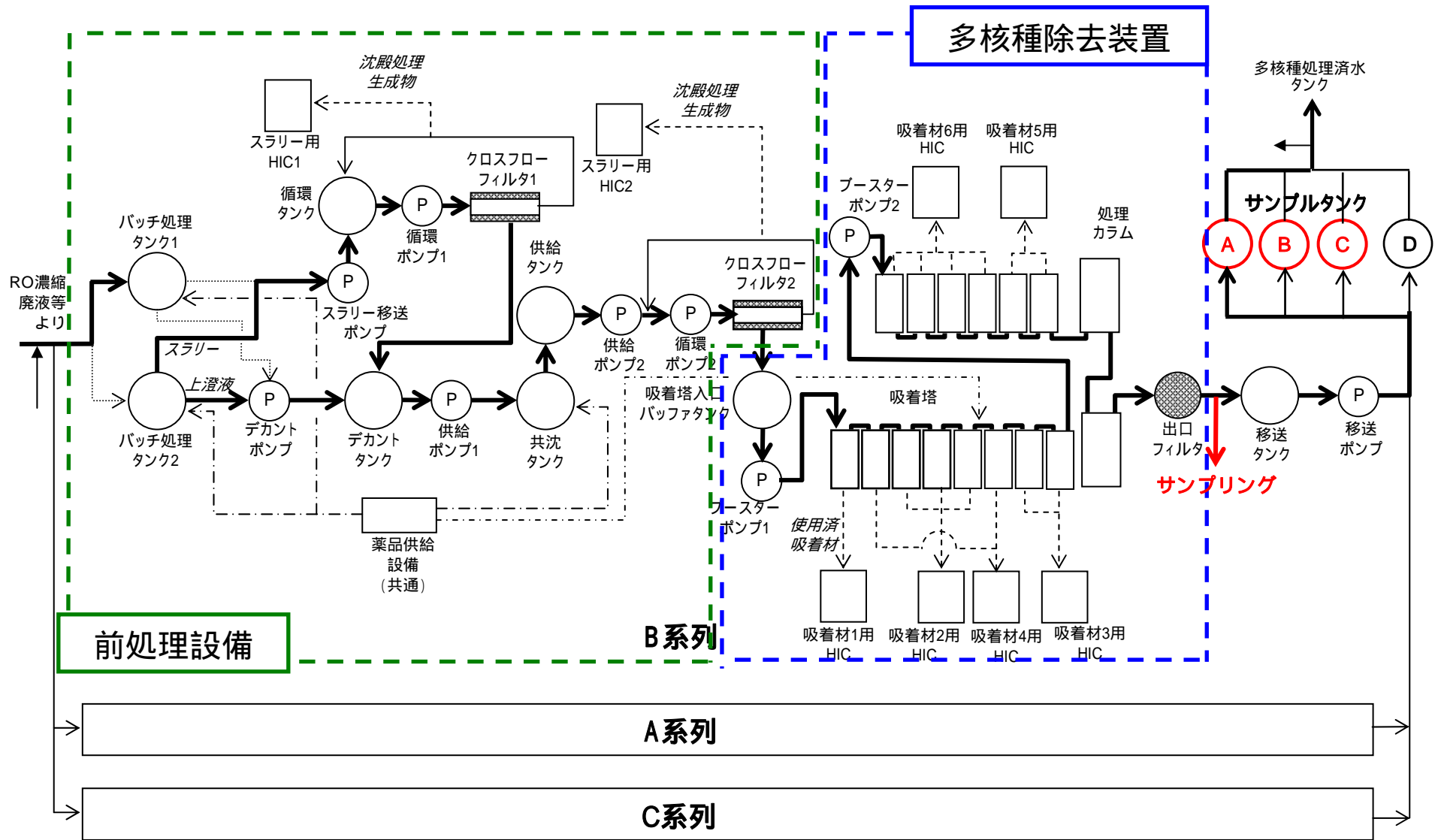
- ・ 処理水タンク(J1(D))まで高い放射能濃度を確認
- ・ (A)系, (C)系については, 除去性能に異常のないことを確認

〔サンプリング水分析結果〕

A系出口： 2.7×10^2 Bq/L (採取日：3月17日)
C系出口： 2.2×10^2 Bq/L (採取日：3月17日)
B系出口： 1.1×10^2 Bq/L (採取日：3月14日)
B系出口： 1.4×10^7 Bq/L (採取日：3月17日午前10時45分)
B系出口： 1.1×10^7 Bq/L (採取日：3月17日午後2時15分)
サンプルタンクA： 5.1×10^6 Bq/L (採取日：3月18日)
サンプルタンクB： 3.6×10^6 Bq/L (採取日：3月18日)
サンプルタンクC： 9.2×10^6 Bq/L (採取日：3月18日)
J1エリア(D1)タンク： 5.6×10^6 Bq/L (採取日：3月18日)

なお、(B)系について、系統構成や機器の異常および漏えいのないことを確認済み。

系統概略図



今後の対応

原因調査及び影響範囲の確認のため、以下の事項を実施

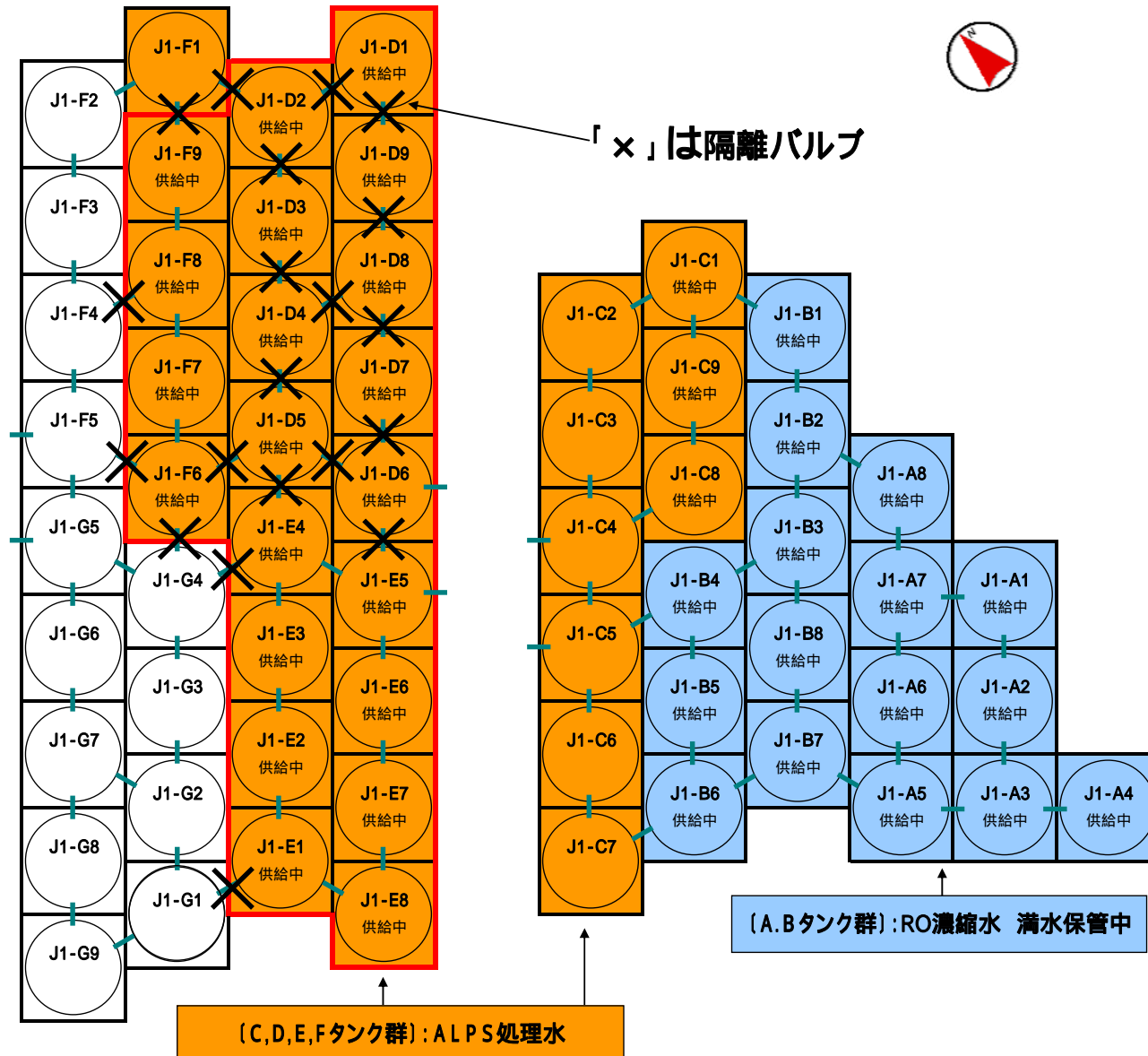
- (B) 系の出口水放射能濃度上昇の原因調査
- J 1 エリアタンクの汚染範囲の確認
 - ・各タンクの隔離 (3 / 1 8 実施済み)
 - ・各タンクのサンプリング (実施中)
- サンプルタンクの残水処理およびタンク・系統配管の除染
 - ・サンプルタンク C A への移送 (準備中)
 - ・サンプルタンク A ・ B ・ C から J 1 エリアへの移送 (準備中)
 - ・系統配管の除染 (準備中)

参考：サンプルタンク保有水量

タンク名	A	B	C	D	合計
保有水量(m ³)	約210	約460	約140	0	約810

以上

(参考) J1エリア多核種除去設備 処理水の貯蔵状況



赤枠:B系からの受け入れタンク 21基